

磐田特別支援学校だより

No. 2



(令和8年9月吉日)

静岡県教育委員会 特別支援教育課
磐田特別支援学校設置準備委員会

日頃より、特別支援学校の活動に御理解、御協力をいただきありがとうございます。

磐田特別支援学校について話し合う会が、8月25日(火)磐田市民文化会館『かたりあ』にて行われました。保護者の方々をはじめ、地域の方や大学生、磐田市関係者、学校関係者等合わせて91名が集まり、進捗状況の報告やグループ協議を行いました。当日の様子を紹介します。



進捗状況の説明 一部を紹介します

【学校教育目標】

みんな輝き 未来へつなぐ

【スクールカラー】

空色

学校教育目標:みんな輝き

子ども中心に輝く

子どもたちはもちろん、教職員、家庭、地域など関わるすべての人が輝く学校を目指す。

良さを輝かせる
一人一人がもつ良さを見つけ、認め合い、日本の笑ひを通して伸ばす。

輝きの輪を広げる
一人の成長や笑顔が周囲へと広がり、互いに高め合える関係を育む。

学校教育目標:未来へつなぐ

夢への一歩を、地域とともにつなぎ、支える

切れ目のない支援

幼児期から小・中・高等部、そして社会自立へとつながる一貫した支援を行う。

小・中・高等部

センター的機能

特別支援教育の「センター(拠点)」としての役割を果たし、地域全体をつなぐ。

社会や人との絆

つながりを大切に、夢や目標に向かって一歩を踏み出す力を育む。

社会自立

成長の軌跡

経験を自信につなげ、挑戦しながら自分らしく歩めるよう支える。

【校章】

- ・74点の応募
- ・10月中旬に決定
(新校だよりで報告)



【校歌】

開校後、令和9年度に児童生徒と制定予定
令和9年度は「愛唱歌」として一般の楽曲を使用

【スクールバス】



試走を重ねて停留所や安全な運行ルートを検討中

【保護者、職員駐車場】

豊田北保育園跡地を利用
(学校まで約200m)



【制服、体操着、作業着（検討段階）】

- ・中学部は標準服、高等部は制服、その他は指定なしの予定（学校が提案するデザインあり）
- ・現在使用しているものはそのまま使用することが可能

【保護者説明会】

2月に実施予定



【校舎のイメージ】



明るい食堂



落ち着いた色合いの
高等部廊下



場所で色分けされる
踊り場、防火扉

グループ協議 ～グループで話し合ったみんなのアイディア～

『防災』『地域とのつながり』『交流及び共同学習』の3つのテーマに分かれ、「期待や大切にしたいこと」や「アイディア、できそうなこと」について熱心に話し合いが行われました。当日の皆さんのアイディアを参考に学校づくりや教育活動に生かしていきます。まとめた意見を紹介します。



防災について ※ピンク付箋=期待すること / 水色付箋=アイディア



① 避難行動・備え・持ち出し品

- ・災害時に子どもが安全に引き渡し場所まで移動できる体制の確保
- ・各家庭での非常持ち出し品の明確化や事前の備え

- ・校舎の屋上への避難構造（垂直避難）の確認
- ・大雨や台風時の登校判定基準の整理
- ・防災倉庫の設置確認や非常食の確保（3日分）

② 福祉避難所・要配慮者支援・医療

- ・感覚過敏な子や障害のある子への個別の配慮
- ・福祉避難所としての機能・受入体制、運営主体の明確化

- ・豊田・池田地区交流センター等の地域専門機関との連携
- ・市内53ヶ所の福祉避難所の把握・活用
- ・避難所指定に向けた検討・調整

③ 地域連携・防災教育・コミュニティ

- ・学区ごとの防災訓練への参加と地域間連携の強化
- ・子ども・保護者・教員も含めた地域全体の「命を守る防災教育」の推進

- ・地域合同での防災訓練の実施の検討
- ・防災マニュアルの地域との共有
- ・通学時（スクールバス・交通整理等）の地域安全連携

④ 避難所運営・ガイドライン・体制構築

- ・発災時に地域住民、教職員、保護者が適切に連携し、円滑な避難所運営ができるような分かりやすい手引きの早期作成

- ・避難所運営体制・役割分担の整理、避難支援
- ・子どもへの対応手順の明確化
- ・まち歩きによる危険箇所点検
- ・近隣企業との災害協定

地域とのつながりについて



① 地域行事・イベントでの交流

- ・行事やイベントに参加し、作業製品の展示・販売等を通じて、子どもたちと地域住民のあたたかい触れ合いを増やす

- ・フェスタ富岡、夏祭りへの参加
- ・新造形創造館での文化祭出展
- ・交流センターを活用したミニバザー等の企画

② 特別支援教育の理解と相談発信

- ・学校の存在や障害特性に対する地域全体の理解を深め、お互いを知ることから支え合う地域づくりを推進

- ・広報誌やパンフレットによる分かりやすい学校紹介
- ・関わり方を学べる研修・相談窓口
- ・公民館での展示

③ 児童生徒の見守り・日常の安全確保

- ・子どもたちが安心して登下校できる通学路環境の確保
- ・地域ボランティアと連携した防犯・見守り体制の強化

- ・青色パトロールや日常の挨拶を通じた見守り
- ・緊急駆け込み場所（ゆやの里等）の確保

④ 体験・学習・進路・企業等との連携

- ・地元企業、農家、福祉事業所等との密接な連携
- ・体験学習（買い物、実習等）の充実と社会参加への土台作り

- ・地元企業訪問、お茶やレモン等の地域資源を活用した農業体験
- ・ボッチャ等のパラスポーツ体験や職場体験

⑤ 多様な人々・異世代との交流推進

- ・高齢者、近隣の小中学生や園児、外国籍の住民等と日常的に交流し、多様性への理解と豊かな社会性を育む

- ・近隣の小中一校や子ども園との日常的な共同学習
- ・高齢者との買い物やグラウンドゴルフを通じた温かなふれあい

⑥ 地域づくり・合同協議・CS

- ・学校づくり・地域づくりに地域住民やボランティア、関係者が定期的集まり主体的に語り合える組織（コミュニティクール）の構築

- ・関係者による「合同協議・話し合いの場」の設置
- ・コミュニティスクールの充実
- ・カフェ等の気軽な地域交流拠点の創設

交流及び共同学習について



① 継続的・効果的な学校間交流・共同学習

- ・近隣の幼・保・小中、高校や居住地校との継続的なつながりの維持
- ・単発で終わらず「また会いたい」と思える関係性の構築

- ・年間行事計画への位置づけ、出前講座（出張授業）の推進
- ・運動会や授業の共有、交流籍を活用した定期的な相互訪問と共同学習

② 相互理解・障害理解啓発と情報発信

- ・子どもだけでなく、地域住民・保護者・教職員全体の相互理解推進
- ・学校の取組や魅力を積極的に地域へ発信し開かれた学校へ

- ・学校紹介動画や広報誌、公民館での展示、SNS(Instagram等)での日常発信
- ・教員向け合同研修会や子育て相談会の開催

③ 地域・社会参加と実践的な学び

- ・地域の一員として行事や活動に主体的に参加する機会の確保
- ・支援を受けるだけでなく、製品販売等を通じて社会貢献する場の創出

- ・地域行事や交流センターまつりへのブース出展、作業製品バザーの開催
- ・農家や大学等と連携した実習やスポーツ教室の展開

④ 個に応じた安全・安心な交流体制と環境整備

- ・一人ひとりの障害特性に合わせた丁寧な配慮や事前の情報共有
- ・子ども、保護者、教職員が安心して参加できる交流の仕組みづくり

- ・事前配慮の共有、特別支援教育コーディネーターや交流の「つなぎ役」の配置
- ・スクールバス運行や通学・移動時の安全調整徹底

※グループ協議のより詳しい内容は、右側の QR コードから 10 月 31 日（土）まで御覧になれます。



今後も磐田特別支援学校の情報についてお伝えしていきます。

担当：磐田特別支援学校設置準備委員会

電話：0538-43-6611